

取扱いの趣旨

セルテクト錠はアレルギー性疾患治療剤であり、「慢性気管支炎」はアレルギー性反応に起因する病名に該当しないと考えることから、慢性気管支炎に対するセルテクト錠は原則として認められない。

支払基金が公表している取扱いの全文

【投薬】

《平成29年9月25日》

15 慢性気管支炎に対するセルテクト錠の投与について

○ 取扱い

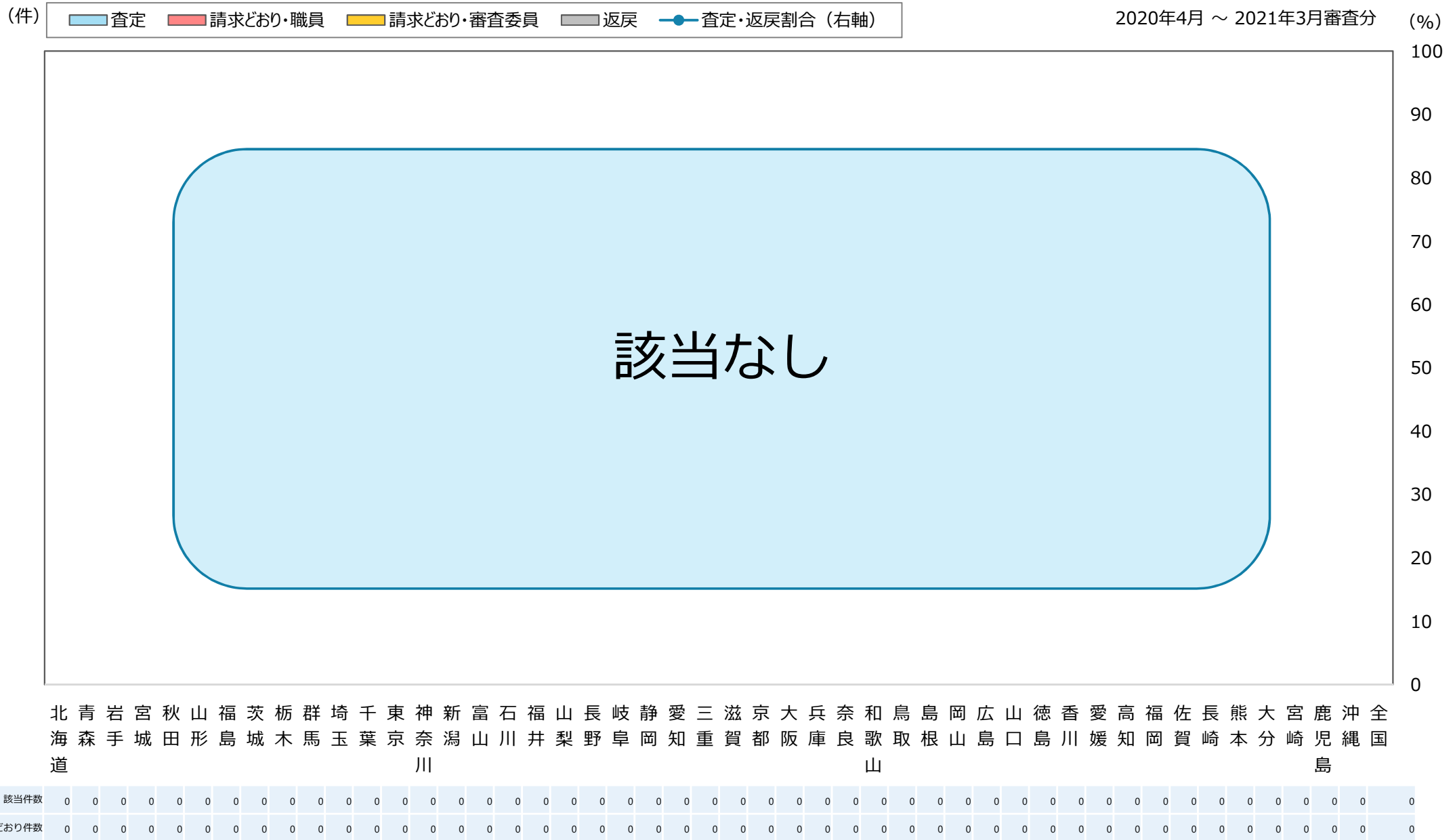
慢性気管支炎に対するセルテクト錠の投与は、原則として認めない。

○ 取扱いを作成した根拠等

セルテクト錠は、第2世代抗ヒスタミン薬に分類されるアレルギー性疾患治療剤であり、添付文書上の適応症は「アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚掻痒症、湿疹・皮膚炎、痒疹」となっている。

一般通念としての「慢性気管支炎」はアレルギー性反応に起因する病名には該当していないと考える。

したがって、慢性気管支炎に対するセルテクト錠の投与は、原則認められないと判断した。



【該当件数】 慢性気管支炎に対してセルテクト錠（一般名：オキサミドの錠剤）を算定しているレセプト件数